

## 1 担架による搬送

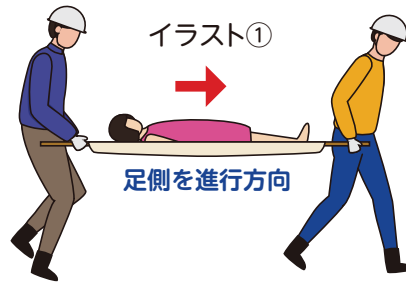
傷病者を発見した場合、原則、応急手当の実施後に傷病者の搬送を行います。傷病者がいる場所が危険な場合や応急手当の実施に支障がある場合には、傷病者を安全な場所に移動させる必要があります。ここでは、傷病者の意識がない場合でも搬送可能な、担架による搬送方法を紹介いたします。



### 1 担架・簡易担架による搬送

担架や簡易担架がある場合の搬送方法です。

- 1 担架を広げる
- 2 担架の中央に傷病者を寝かせる
- 3 搬送者(頭側・足側)が同時に持ち上げ搬送する



#### 担架搬送のキホン！

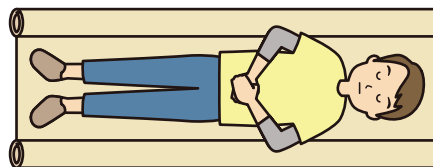
- 1 原則として、足側を進行方向として搬送しましょう。
- 2 頭側は傷病者を観察しながら、足側の搬送者は進行方向を見て搬送しましょう(イラスト①)。
- 3 階段などの傾斜がある場所を移動する時は、常に傷病者の頭が高くなるように搬送しましょう(イラスト②)。



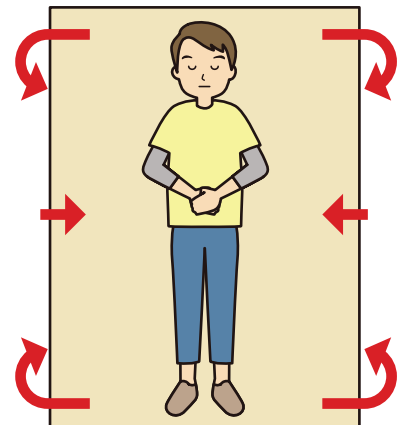
## 2 毛布で応急担架を作成して搬送

担架がない場合に、毛布やシーツ等により担架を作成し、搬送する方法です。

- 1 毛布(シーツ等)を広げる
- 2 毛布の中央に傷病者を寝かせて、毛布の端から中心に向かって固く巻く
- 3 4人以上で毛布の丸めた部分(4隅)を持って、同時に持ち上げ搬送する



完成図



#### 【ポイント】

- 傷病者を持ち上げる際には、搬送者は声を掛け合ってタイミングを合わせましょう。
- 4人で搬送する場合は、中央付近がたわみ、傷病者の腹部に負担となる場合があります。中央にも搬送者を配置する6人搬送が理想です。



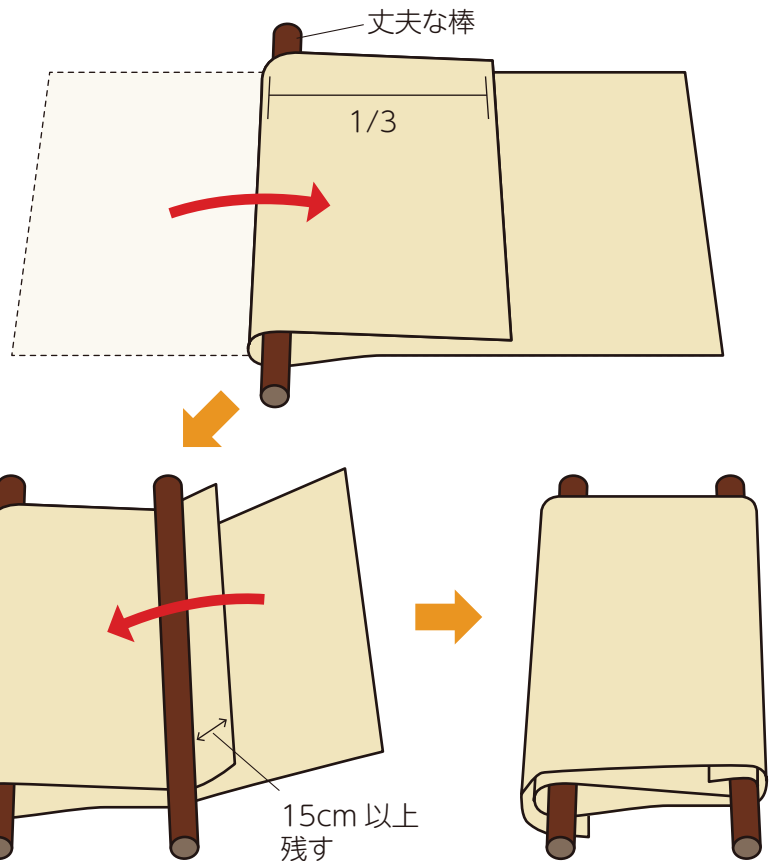
### 3 毛布と棒で応急担架を作成して搬送

担架がない場合に、毛布と棒2本により担架を作成し搬送する方法です。

- 1 毛布を広げ、毛布の約1/3の場所に棒を1本置く
- 2 もう1本の棒を、折り返した毛布の上に置き(端を15cm以上残す)、残りの毛布を折り返して担架のできあがり
- 3 ①の2, 3と同様に傷病者を寝かせて搬送する

#### 【ポイント】

- 使用する棒は、傷病者の体重を支えるのに十分な丈夫なものにしましょう。



### 4 衣服と棒で応急担架を作成して搬送

担架がない場合に、衣類の上衣(ボタンやチャックを閉めた状態で準備する)5枚以上と棒2本により担架を作成し、搬送する方法です。

- 1 ひとりが、上衣の袖口に両手を通して2本の棒を保持し、もうひとりが上衣を逆さまに引っ張り2本の棒に通していく
- 2 残りの上衣も1の要領で2本の棒に通して担架のできあがり
- 3 ①の2, 3と同様に傷病者を寝かせて搬送する

